



USR-TCP232-410s(LAN-RS485変換器)設定手順

[USR-TCP232-410s\(LAN-RS485\)設定手順書 \(ここも設定マニュアル\)](#)



USR-TCP232-410s 購入時パッケージ



USR-TCP232-410s 外観

注) RS485ケーブル用コネクタはUSR-TCP232-304と同じですが、接続ピンが異なります。
左から、A(+)、B(-)、Gで、実際にEcoPowerMeterと接続する場合、赤(+)-(+)、黒(-)-(-)になります。



USR-TCP232-410s 外観2

電源供給は、付属の専用電源ケーブルの他、例えば組込用にDC3.6~5Vの電源供給が可能です。



USR-TCP232-304 外観

USR-TCP232-304の場合、電供給は付属の専用電源ケーブルのみになります。



ログイン

http://192.168.0.7
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

00-1.ログイン画面

ブラウザでデフォルトIPアドレスhttp://192.168.0.7をアクセスするとログイン画面が表示されます。



ログイン

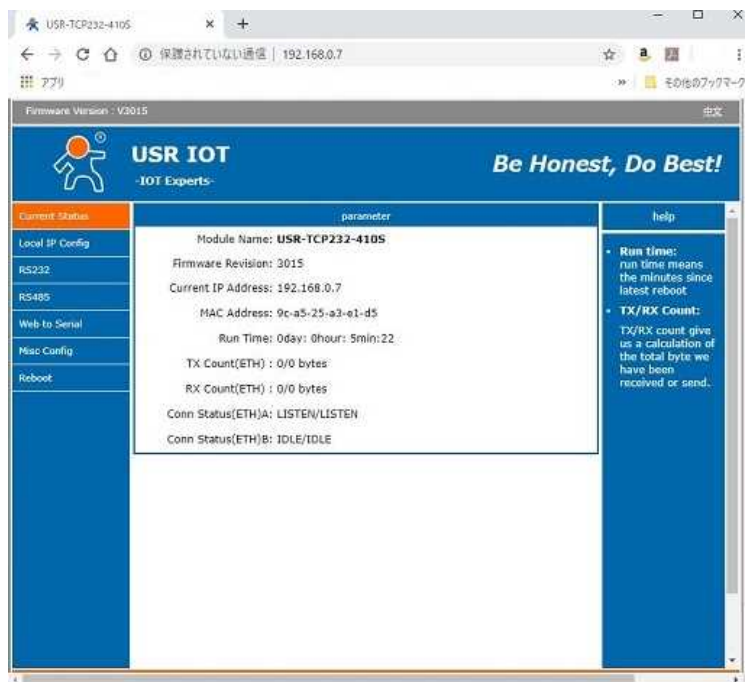
http://192.168.0.7
このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません

ユーザー名

パスワード

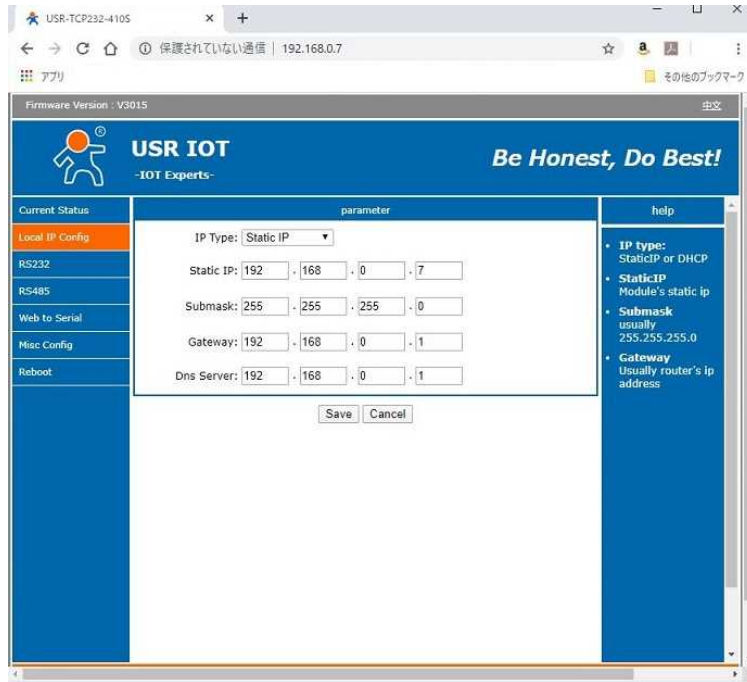
ログイン キャンセル

00-2.ログイン画面(ID/PASS=admin/adminを入力)



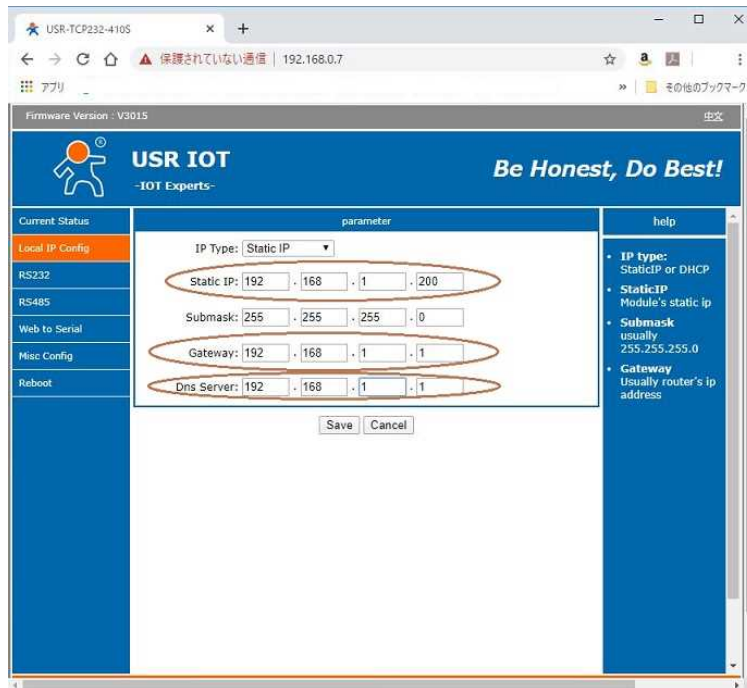
parameter	help
Module Name: USR-TCP232-410S	
Firmware Revision: 3015	
Current IP Address: 192.168.0.7	
MAC Address: 9c-a5-25-a3-e1-d5	
Run Time: 0day: 0hour: 5min:22	• Run time: run time means the minutes since latest reboot.
TX Count(ETH) : 0/0 bytes	• TX/RX Count: TX/RX count give us a calculation of the total byte we have been received or send.
RX Count(ETH) : 0/0 bytes	
Conn Status(ETH)A: LISTEN/LISTEN	
Conn Status(ETH)B: IDLE/IDLE	

01.初期画面



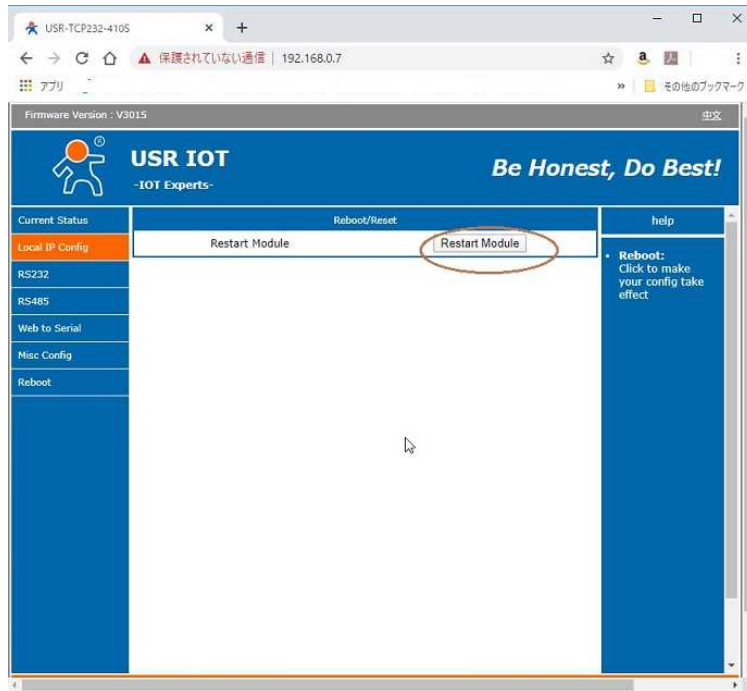
02.Local IP Config 画面

画面左側の「Local IP Config」をクリックして、IPアドレス設定画面の表示。



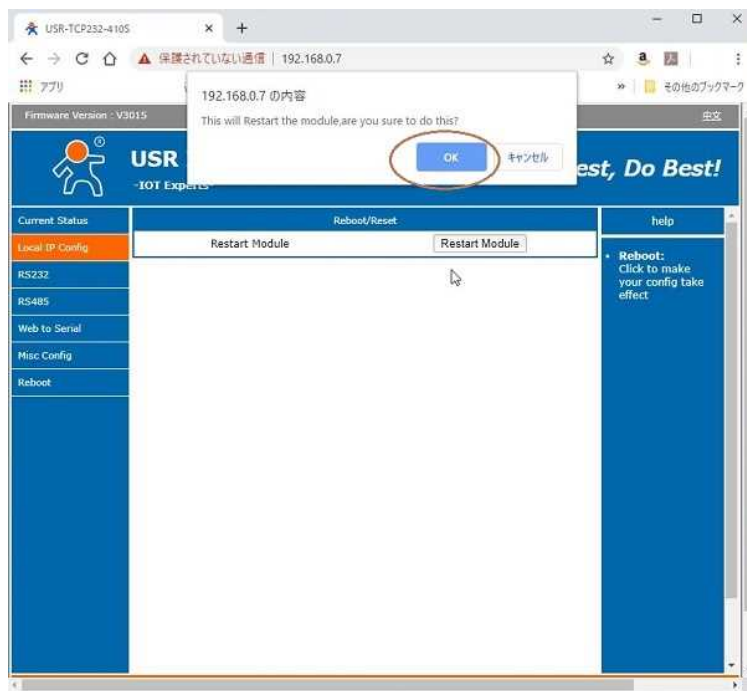
03.Local IP Config 設定例

StaticIP、GatewayおよびDNSを変更します、それぞれ下記の通りです。
 StaticIP=192.168.1.200、Gateway=192.168.1.1、DNS=192.168.1.1
 入力(変更)が完了したら「Save」ボタンをクリックします。



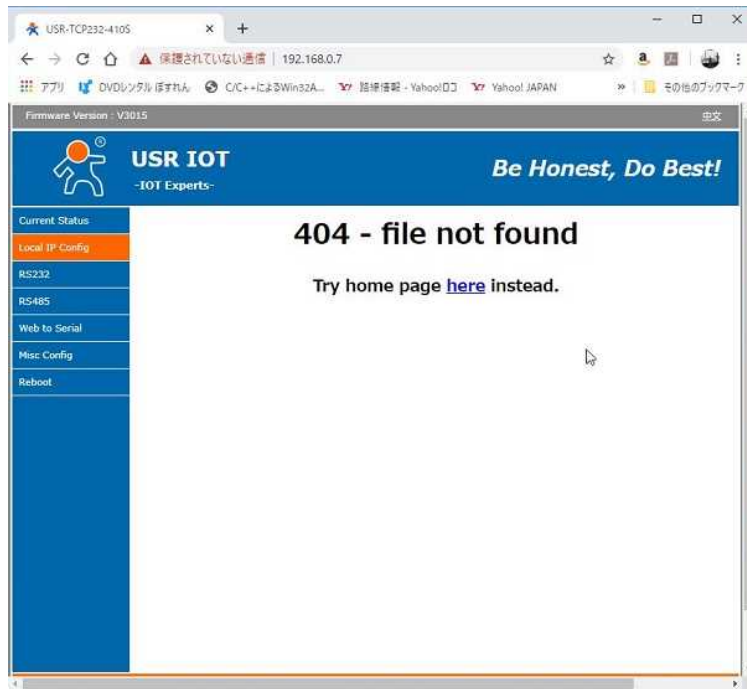
04.再起動確認画面

前画面の「Save」で再起動確認画面が表示されます。ここで「RestartModule」をクリック。



05.再起動実施確認画面

再起動してかどうかの確認画面が表示され、ここで「OK」をクリック。

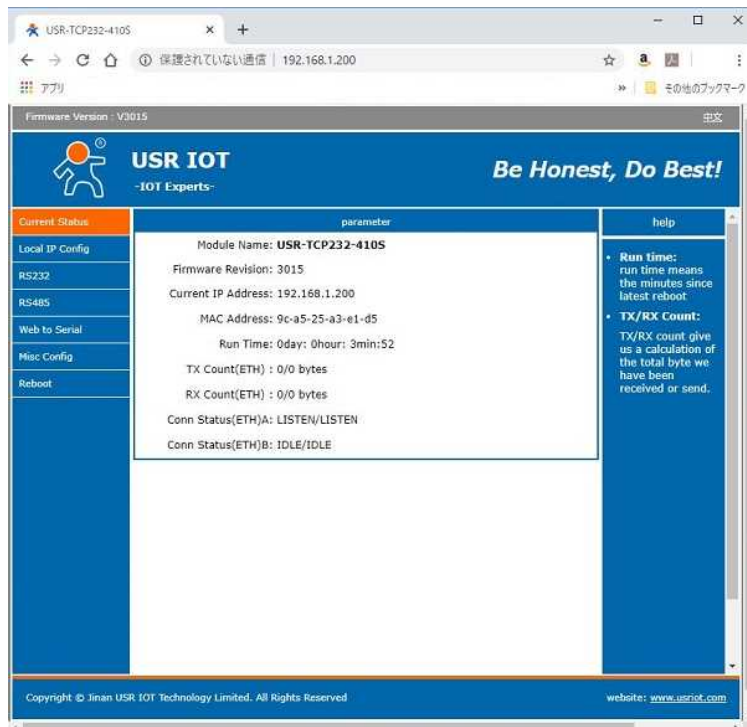


06.404-file not found 画面

「RestartModule」で再起動したら上記のエラー画面が表示されます。

再起動によりブラウザ側がエラーになります。

問題がありませんので、ここまでの作業完了です。



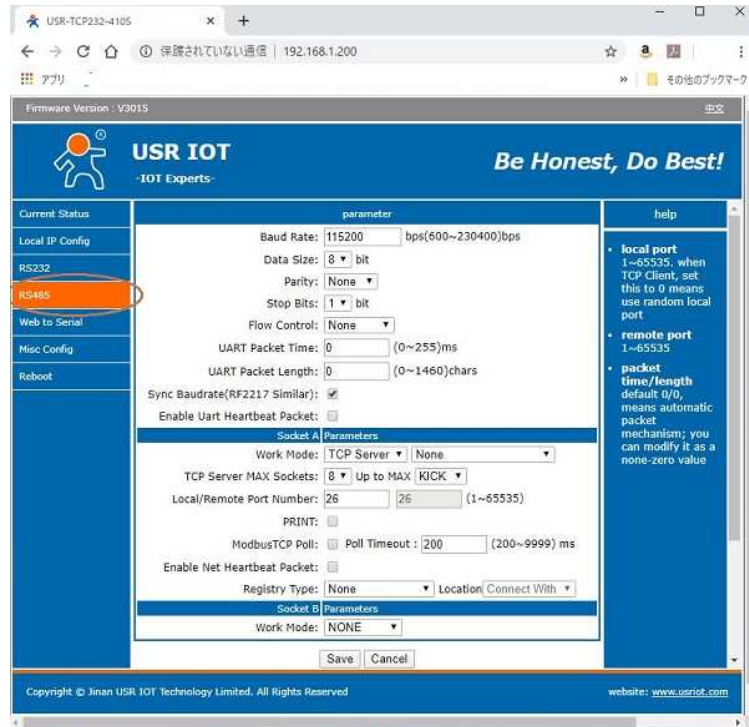
07.再起動後再度ログインで、初期画面

画面上、IPアドレスが設定した内容に変わったことを確認できます。

注) 再起動後のログインするには、パソコンのIPアドレスも変更する必要があります。

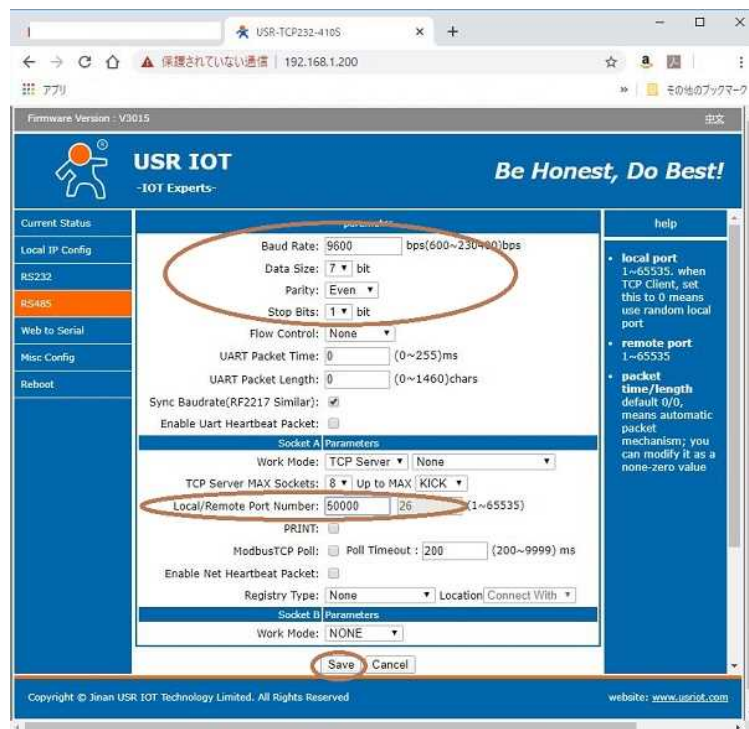
(IPアドレスのセグメントが異なった場合アクセスできません)

([Windows10のTCP/IPv4設定についてはここをクリック](#)).



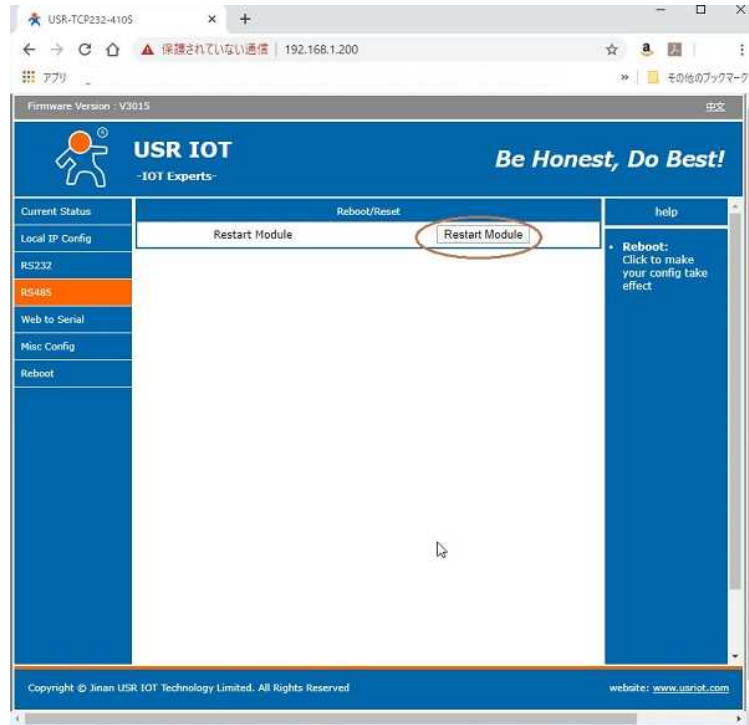
08.RS485設定画面

画面左側の「RS485」のクリックで、RS485設定画面になります。



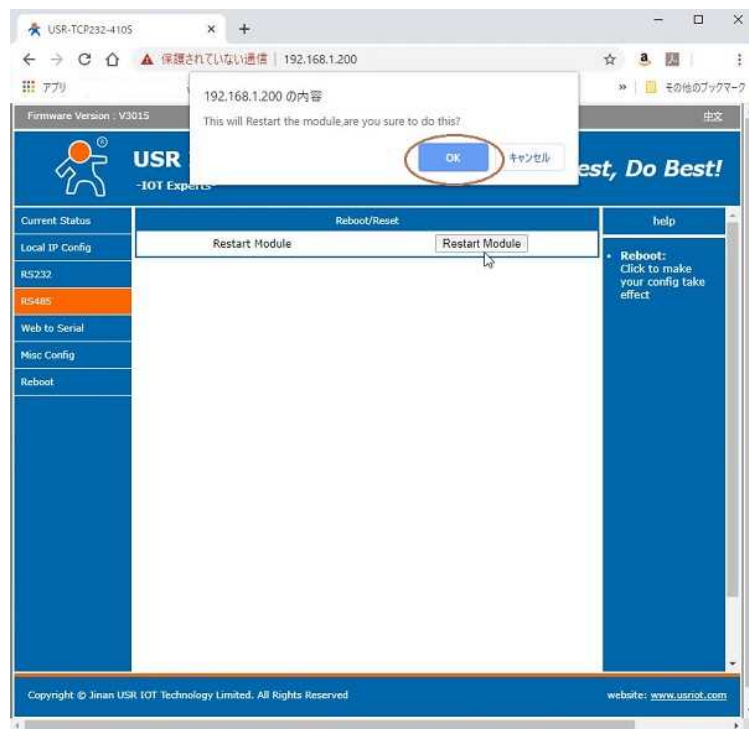
09.RS485設定画面(入力/変更項目)

ここで、BaudRate,Data Size,Parity,StopBits およびPortNumberを入力/修正します。
BaudRate=9600,Data Size=7,Parity=Even,StopBits=1,PortNumber=50000とします。
入力/修正が完了したら画面下部の「Save」ボタンをクリック。



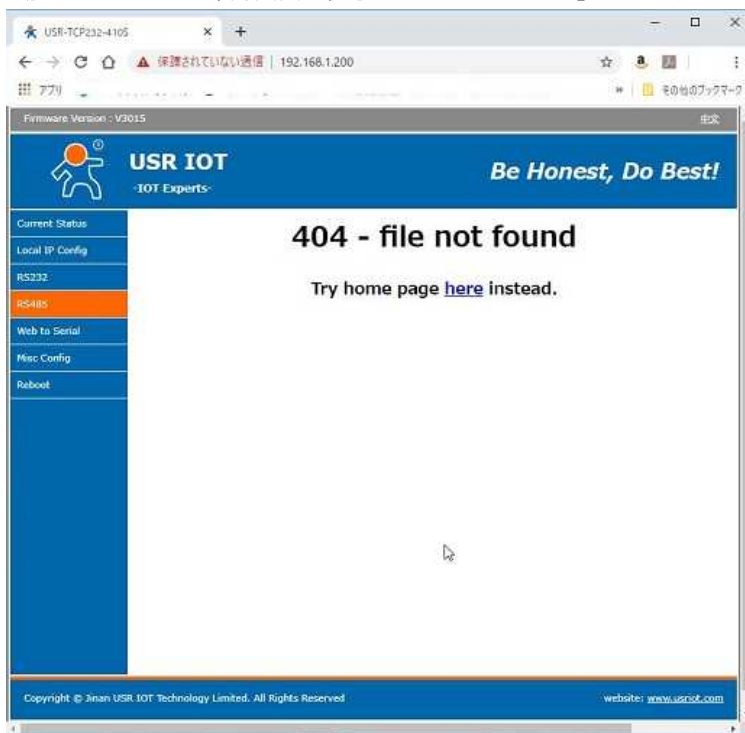
10.再起動確認画面

前画面の「Save」で再起動確認画面が表示されます。ここで「RestartModule」をクリック。



11.再起動実施確認画面

再起動してかどうかの確認画面が表示され、ここで「OK」をクリック。br>



12.404-file not found 画面

「RestartModule」で再起動したら上記のエラー画面が表示されます。

再起動によりブラウザ側がエラーになります。

問題がありませんので、作業完了です。

最終更新:2020.02.18

Copyright © 2018-2020 [JAVASYS](#) ([eco-bems](#) & [eco-cloud](#) & [linchpin](#)) All Rights Reserved.